

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホッグ東住吉		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用時間の長い日などにおいて、屋内だけでなく屋外を含めて様々なイベントを企画している。	集団活動だけでなく児童の特性に合わせて屋内活動、屋外活動を組み合わせ様々な配慮をイベントを企画しています。	これまで以上に楽しいイベントや児童の成長につながるイベントを今後も企画していきます。
2	児童により様々な障がい特性があり、その特性や児童本人の意向、また保護者様のニーズを踏まえ支援計画を組み様々なケースに事業所で出来得る範囲で最大限対応している点。	保護者様と緊密にコミュニケーションをとる事、児童の日々の様子をよく観察し目標設定を的確に立てれるように取り組んでいます。	関係機関との連携やより緊密な保護者とのコミュニケーションを実施していきます。
3	児童の障がい特性や不登校や家庭環境など様々なニーズに対応していること。	児童の置かれている状況や求められるニーズを児童本人や保護者とのコミュニケーションの中で把握するようにしています。	ニーズの把握とより良い提案をこれまで以上にできるよう努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の支援スキルや人間性の成長のための研修等の機会や実施時間の確保。	職員の職位や経験年数などにより必要な研修が違い、有効な研修を探ることが難しいため。	事業所内での研修や勉強会、外部研修など多角的に検討していきます。
2	専門性や何かに特化した特徴をもっていない事業所としていくところ。	専門性の資格所持者がいないこともあるが、個々のニーズを分析しその時点での最善な支援をしているため、事業所として特化した専門性にはなっていないため。	有資格者の配置や専門的なスキルを学ぶ機会を設ける検討をしていきます。
3	職員数が多く経験やキャリアに差があるため情報共有や支援スキルに差が出てしまう。	勤務日数に差があり共有レベルが違うため。	業務開始時や終了時のコミュニケーションレベルを上げること、ミーティング内容に工夫していきます。

## 公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 ホッグ東住吉

公表日 2026年 2月 3日

利用児童数 3

回収数 1

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0	狭い空間を最大限活用できる配置にしています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0	児童それぞれに丁寧に対応できる人員配置が来ている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0	段差もなく、掲示物には絵などを用いて分かりやすくしている。また構造化により遊具の収納しやすくしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	1	0	0	0	空調など設備を充実させ、掃除も徹底出ています
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0	個室として使用でき、学習に集中できる部屋があります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0	定期的ミーティングの時間を設けています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0	多角的な視野で意見を出し合い分析を行い計画するようにしています
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0	いつでも意見を交わし、定期的に面談する機会を設けています
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	支援計画の目標を中心に支援を行っています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0	外部研修参加後に社内研修に繋げている。参加できない場合は資料確認をしています
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	0	1	地域の子ども食堂へ一部児童と参加する試みをしています
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0	丁寧なアセスメントが出来ており、日々の変化とニーズを把握するようにして
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0	定期的支援計画の更新をし、その際にはモニタリングと新しい支援についてご説明しています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	0	1	他機関連携をしながら助言するようにしています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1	0	0	0	密な情報共有を行い信頼関係を深めています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0	相談がなくても事業所での事案について助言を行っています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0	保護者様や児童のニーズを把握し共感が得られるように支援するようにしています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	0	意見交換会など今後検討してまいります
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0	内容確認等も含めて迅速に対応できています	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0	保護者様に合わせ様々な手段を導入しています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0	行事予定等のお知らせを毎月発信しています。自己評価はホームページにて掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0	扱いには厳しく指導し取り組んでいます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0	各種マニュアルを整備しております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0	定期的に各種訓練実施しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	安全計画に基づいて毎月実施事項を決め実施しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0	速やかに連絡するようにしています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0	安全計画に基づいて環境整備を実施し安心できる空間に出来るよう努めています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0	楽しみながら学べることを目標に支援しています
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0	今後も自己肯定感を育み自分自身のために生きる力を養い身に付けることが出来るように支援していきます

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ホッグ東住吉		公表日		2026年 2月 3日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1	狭い空間を最大限活用できる配置にしている。	テーブルの配置や限られたスペースで今後も工夫をしております	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	児童それぞれに丁寧に対応できる人員配置をしています	支援内容やイベント等により配置を増やすことをしています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	3	掲示物には絵などを用いて分かりやすくしている。	今後も備品配置などをより改善してまいります	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	構造化により遊具の収納しやすくしています	今後も設備を見直し、掃除も徹底していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	静養室の利用や学習に集中できるよう空間を分けています	複数の利用希望があった場合などの利用基準や配慮すべき点を精査していきます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	1	児童ごとの課題や目標を確認し定期的にミーティングすることより振り返りをしています	今後も勤務数に差がある職員間の共有に取り組んでいきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2	毎年実施しており共有しています	様々なニーズを把握は今後も注力してまいります	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	定期的にミーティングすることより改善するようにしています	勤務数に差がある職員との意見交換に努めます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	4	現時点では第三者評価を導入していません	今後も引き続き検討してまいります	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	2	外部研修参加後に社内研修に繋げている。参加できない場合は資料確認をしています。	外部研修参加後の情報共有には課題としています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	ホームページにて公表しています	今後も見直しや改善を進めていきます	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	多角的な視野で意見を出し合い分析を行っている	家庭での過ごし方などを確認することが課題と認識しています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	計画を作成するにあたって担当職員等との意見交換や会議を行い、保護者様のニーズなどを考慮し作成しています	家庭での過ごし方や方向性を把握すること、連携することの精度を高めることが難しい点もあり、課題としています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	支援計画を中心に支援しています	支援計画にある目標の進捗と振り返りに今後とも努めます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	丁寧なアセスメントが出来ており、日々の変化とニーズを把握するようにしています	アセスメントツールは統一しやすいと思います	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	1	児童それぞれに応じて5領域を組み合わせ支援計画とし支援しています	児童により様々な課題がありますが、必要な支援を今後も反映させるよう検討してまいります	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1	個々で立案し全員で相話し方向性を決めています	より効果的なプログラムを立案できるようにしてまいります	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	2	屋内、屋外、個人、集団など多岐にわたっています	児童の心身の状況を見ながら工夫してまいります	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	支援計画にも記載し分かりやすく出来ています	今後も特性や年齢を考慮した計画を検討してまいります
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	始業時の共有事項などはメモを取るなど共有できていると思います	細かい調整や確認をより出来るように改善してまいります
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	日々の観察を終礼で報告することが出来ています	細かい内容の共有には課題と感じています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	記録を日々行い確認できるようにしています	今後も継続しよりよい検証の材料に出来るようにしてまいります
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1	モニタリングを実施し見直しをしております	より最適な計画を模索してまいります
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	担当職員が参加し児童や家庭での様子を含めて把握し支援に繋げています	今後も引き続き務めてまいります
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	関係機関と積極的に連携するようにしています	関係機関との連携においてその幅を広げることが課題と考えています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	全体的に出来ていると思います。必要に応じて関係機関との連携を促しています。	頻度も少ないことからその経験不足もあり課題としています
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	卒業後の進路が確定した際に担当者会議の依頼を出しています	今後も必要に応じて連携してまいります
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	12	1	必要に応じて連携し関係機関に助言を求めるなどを行っています	専門機関などの研修に積極的に参加していくことで連携を図ってまいります
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	4	地域の子どもと公園で遊ぶことがあります	インクルージョンの観点から定期的に高齢者施設に訪問イベント参加をしており、今後も継続してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	日々の活動について課題を含めて伝えるようにしています	家庭や学校での様子をより把握し支援に繋げるようにしてまいります
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	4	他機関連携をしながら助言するようにしています	今後も関係機関との連携を強く対応力の向上を図ってまいります	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	時間を確保し丁寧な説明を行っています	利用開始後も不明な点など丁寧に説明してまいります
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	児童本人の日々したいこと、意思確認は出来ていると思います。	家庭環境や児童の特性によって児童の最善の利益が何か、これまで以上に精査する必要があると感じています
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	定期的に支援計画の更新をし、その際にはモニタリングと新しい支援についてご説明しています	児童の障がい特性や置かれている環境により計画の修正などについても注力してまいります
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	定期的にはなく随時ニーズや困りごとを把握するように支援を行っています	事業所における支援だけでなく外部機関に繋ぐ必要を感じる場面もあり、他期間との連携を強化する必要があると感じています

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	5	現在父母の会等を実施はしておりません、連携については配慮しています	現在は保護者会等は設けていません。今後も課題といたします
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	お問い合わせには迅速に対応するよう心掛けています	事業所内の連絡体制の整備にも注力していきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0	行事予定等のお知らせを毎月発信しています	活動中や活動後の様子を伝えられるツールについて検討していきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	個人情報のシュレッダー廃棄を基本に十分に注意し取り扱っております	職員間での差のないよう今後も引き続き務めてまいります
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	保護者様に合わせ様々な手段を導入しています	今後もご要望に応じて導入検討をしていきます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	9	現在のところ事業所への招待等は行っておりません	地域の高齢者施設への定期的な訪問を行っており今後も継続していきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	各マニュアルに応じた訓練を社内で定期的実施している。	周知方法についてホームページへの掲載等を検討していきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	定期的に利用児童全員参加で実施できており、消防署での訓練など協力のもと訓練を行っています。	今後も定期的に様々な有事を想定し訓練実施してまいります
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	0	事前に既往歴をはじめてんかん等についても確認しております	今後も引き続き務めてまいります
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	事前にアレルギーの有無についても確認し注意しております	対象の児童がいませんが把握に努めます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	安全計画に基づいて毎月実施事項を決め実施しています	毎月決められた計画を実施していますが、より適切な内容への変更を検討していきます
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	安全計画に基づいて環境整備を実施し安心できる空間に出来るよう努めています	実施後の周知についてはご家庭により差があり、周知方法について検討してまいります
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	ファイルにて見やすく管理し、共有出来ています。	今後も引き続き務めてまいります
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	定期的に研修機会を確保することが出来ています	研修参加後の共有をより進めてまいります	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0	必要な児童においては保護者様同意とともに出来ています	児童の行動障がいの分析を詳しく行い行動障がいを減らせるように取り組んでいきます	